

食材のありがたさ

阿蘇市立内牧小学校

六年

森

耀光

ぼくは、よくおにぎりを作るんだけど、た

まに塩をかけすぎて、しょっぱいおにぎりがで

きる。それでもぼくは、残さず食べる。米が

無だからだ。

ぼくが、おにぎりをよく作るようになった

あ、かけは、去年四月十六日におこった、地

しんだ。ぼくの家には、被害はなかったけれど

と、他の場所では被害がでたと聞いた。その

日から、ぼくは、食欲がなくなった。そ

れは、地しんのきょうふがらた。食べな人と

思っているものを通りなかつた。その後

ひ難場所に移動した。そこでは、自衛隊の方

々がたき出しを行っていた。ぼくもそこで、

ご飯をもらい、食べた。そのおにぎりがとて

も、おいしかった。その日から、大人だと

食欲がもどいていき、ご飯が楽しみななっ

ていった。たきだしには、いもや、肉などがあ

ったけれど、一番おいしかったのは、おにぎ

りだった。ふりかけやのりを使わないうちにき
りだっただけで、とてもおいしかったです。そ
して、ご飯が食べれるありがたさや、幸せを
感じた。ひな人生活が終わった後もおにぎり
が好きだった。特に、おばあさんの作った
おにぎりが好きだ。塩加減が丁度いいからだ。
ほくは、お米を残さず食べている。それは、
作っている方に失礼だからだ。種もみから稲
かりまでの約五ヵ月間を大切に育てているか
らだ。もちろん別の食材もそうである。だから
ら、残さずに食べている。お米は日本人の
主食である。しかし、今では、米以外のパン
やパスタなどを食べる人が増えて、米を食べ
る人が減っていると思われる。ほくも、パ
スタが好きでよく食べるが、やっぱりお米が好
きだ。ほくは、朝からおにぎりを作って食べ
たりする。お米の甘みを生かしたおにぎりが
好きだ。だから他の人にもお米をもっと食べ
てもらいたい。お米のよさを知ってもらいた
い。ほくは、これからもお米や食材の感謝の

気持ちを忘れずにいたい